

平成22年度 第2回芦屋市立義務教育諸学校教科用図書採択協議会 会議録

日 時	平成22年7月26日(月) 13:30~17:00
場 所	北館2階 第3会議室
出席者	委員長 中尾 滋男 副委員長 目黒 強 委 員 長谷川 則光 木下 新吾 上月 敏子 松本 朋子 事務局 北野 章 岡田 力 西尾 節子
会議の公開	公 開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 報告事項

調査研究専門員報告

(2) 協議事項

平成23年度使用小学校教科書の採択について

平成23年度特別支援学級で使用する一般図書の採択について

2 提出資料

資料1 平成22年度特別支援学級における一般図書の使用状況

資料2 平成23年度使用教科用図書調査研究報告書

資料3 教科用図書および一般図書見本

3 審議経過

上記の協議事項について、調査研究専門員より報告を受け、以下の質疑応答を行った。

(1) 国語・書写

(上月委員) 5・6年では上下巻に分けず合冊になっている利点は何か。

(石政専門員) 複数単元の学習内容の関連がわかりやすく年間を見通した指導ができる。

(上月委員) 2学年単位で学習内容にまとまりを持たせる意識はどのように教科書に表れているのか。

(石政専門員) 2年間で螺旋的に内容が積み重ねられるようになっている。

(目黒委員) 光村図書の良さは何か。

(石政委員) 題材の選定において、道徳的心情や詩をはじめとして言葉の美しさが味わえるように配慮されていること、学習の手引きが丁寧に子どもにもわかるように示されていること等である。

(目黒委員) 候補としている図書はユニバーサルデザインの点ではいかがか。

(石政専門員) その点では配慮されている。

(事務局) 国語と書写が同じ出版社の方がよい理由を説明して下さい。

(石政専門員) 新出漢字がそろっていることである。

(2) 社会・地図

- (上月委員) 教育出版の良さは何か。
- (伊田専門員) 学び方の手順がわかりやすいこと，寒い地方と暖かい地方のように対比が見開きで明確に示されていること等である。
- (上月委員) 課題設定の方法はどのようになっているのか。
- (伊田専門員) 見開きの左側に示されている。
- (目黒委員) 現在採択している出版社を変更するデメリットがあるか。
- (俵原専門員) なじんだキャラクターが替わることなどはあるが，とりたてて大きな不利はないと考える。
- (中尾委員長) 地図についても候補としている出版社の良さを報告いただきたい。
- (伊田専門員) 色調のあざやかさ，地方の区分の分かりやすさが挙げられる。

(3) 算数

- (木下委員) 数学的思考を育む展開の工夫を詳しく挙げて下さい。
- (笠原専門員) 問題解決のプロセスが丁寧に示されている。例えば，分数のかけ算では，いきなり問題とするよりも，既習事項の復習から導入が図られている。
- (木下委員) 計算はできるがその意味がわからない子どもたちへの指導が求められる。
- (上月委員) 問題解決へのいろいろな考え方が示されているのか，また理解を深めるプロセスは丁寧か。
- (笠原専門員) 単位によって異なる。東京書籍はノート指導に力を入れている。啓林館は子どもたちがこの通りに考えればできるようになるようにプロセスが示されている。
- (事務局) 東京書籍はホームページでユニバーサルデザインに配慮しているとしているが，実際に調査してどうであったか。
- (笠原専門員) 配慮があった。

(4) 理科

- (中尾委員長) 第1候補が第2候補よりも採択するにあたって適切な点を挙げて下さい。
- (増井専門員) 上下巻合冊であること，生命の誕生等に関わる興味を引く写真，電気などは既習事項の確認から入っていること，人物紹介やチャレンジコーナーの充実，関西の資料が豊富であること，ノートのまとめ方の例示，理科の学習語いを使用して文章をまとめる観点があること，実験結果が次のページに記載されていること，保護者への協力を求める内容の記述があることが挙げられる。
- (上月委員) 環境教育への視点はどのようなことがあるか。
- (増井専門員) レイチェルカーソンを取り上げたことに代表されるように地球規模で考える視点を一貫して持っている。
- (瀧之内専門員) 地域の環境を取り上げることによって問題を身近に感じさせるようにしている。
- (上月委員) 考察する力をどのように育てようとしているか。
- (増井専門員) 条件をそろえて実験し，図表で整理し，課題に応じたまとめ方をし，その後発表する活動を取るといった学習プロセスが踏まれている。
- (目黒委員) カラーユニバーサルデザインについて配慮されているか。

(増井専門員) 配慮されている。

(5) 生活科

(目黒委員) 啓林館の写真, 挿絵の分量をどうとらえているか。

(正原専門員) 写真が多すぎると感じる。

(上月委員) 子どもが自らやってみるといった視点はどうか。

(正原専門員) 子どもが取り組みやすいように一連の活動を帯にしたレイアウトで見やすく示している。

(上月委員) 町探検での地図の示し方はどうか。

(正原専門員) 啓林館はポイントが多すぎてしぼりにくい。

(中尾委員長) 報告書では内容に関する良さがわかりにくい。

(上月委員) 場面ごとに詳しく比較する必要がある。

(辰巳専門員) 例えば朝顔を扱う単元では, 大判の写真を用いて, 生長の様子が変わるよう連続した写真を使用している。また扱う植物も豊富であり, 子どもの書いた字で観察記録が示されている。子どもが次の活動をしたくなるような意欲を高める作りになっている。写真の配置や余白の程度も適切である。

(上月委員) カラーユニバーサルデザインについて配慮されていると思うが, さらに調査いただきたい。

(事務局) 2 発行者の明確な差を調査報告書に追加してもらいたい。

(6) 家庭科

(中尾委員長) カラーユニバーサルデザインについてどうか。

(玉暉専門員) 調査して報告書に入れる。

(目黒委員) 各論での良さは報告されているが, トータルとしてどちらがよいのかわかりにくいので説明いただきたい。

(玉暉専門員) 内容をトータルに見ても東京書籍がよい。

(上月委員) 小物作りのところは開隆堂が子どもの発達段階に沿っていてよい。

(中尾委員長) 報告書に第一候補を推す理由を明記いただきたい。

(7) 音楽

(中尾委員長) 第1候補とする理由を挙げて下さい。

(大松専門員) 各題材の系統性があり, 配列の工夫が各学年もれなくある。選曲がよく, 他の曲と関連付けて授業作りができる。演奏する曲と鑑賞する曲の関連がある。各学年で取り上げる題材の関連も密接である。

(上月委員) カラーユニバーサルデザインについて取り上げられていないが, 子どもの視点からも重視いただきたい。

(事務局) 教科書会社のホームページでは配慮されているとある。調査をお願いしたい。教育芸術社は色のみで指し示してカラーユニバーサルデザインとは言えないページがあるが, 内容的にそれ以上によいものがあるということですね。

(大松専門員) そのとおりである。

(8) 図工

(中尾委員長) 報告書に挙げられているのはすべて日本文教出版の良い点であるとい

うことで確認してよいか。

(中島専門員) その通りである。加えて、作品が見開きになるページは見にくいですが、日本文教出版はそのような見開きを使用していない。

(目黒委員) 報告書は、はじめに挙げられた観点とその後の記述の関連性がわかるようにしていただきたい。

(米澤専門員) 可能なのでそのように修正する。

(上月委員) 創作する喜びが確かな学びにつながるとはどんなことがあるか。

(米澤専門員) 報告書にあるとおりだが、日本文教出版社の方がプロセスの表し方がより丁寧である。

(9) 保健体育

(中尾委員長) 学研の利点を挙げていただきたい。

(尾上専門員) 調べ学習がしやすい。他にも性教育に関して導入しやすい。

(石田専門員) 配列は各社似通っている中で、学研はキーワード重視の編集を打ち出している。資料の説明が本文にあるかも調査した。

(中尾委員長) 健康的なライフスタイルについてはどうか。

(尾上専門員) 東京書籍にも記述があるが、学研の方がより詳細である。

(目黒委員) カラーユニバーサルデザインについてはどうか。

(尾上専門員) 各社大きなちがいはない。

(目黒委員) いずれも問題ないということか。

(尾上専門員) そうである。

(10) 特別支援学級用一般図書

(伊藤専門員) それぞれ個人に合った本を選ぶということから151冊が選ばれている。

(目黒委員) 弱視の子どもは一般図書を使用していないのか。

(事務局) 拡大教科書を選択しているためである。

(守本専門員) 弱視の場合、単純に拡大しても見えないことがある。文字の太さも関係がある。点字本が必要なことも考えられるが、現在在籍する弱視の子どもの場合は拡大教科書が適切であろう。

(伊藤専門員) 転入のこともあるので選択できる幅を広く残してある。

(中尾委員長) 廃盤になったものもあるのか。

(守本専門員) 調査研究資料は数年おきに作成され、毎年の修正の際に廃盤になるものが示される。

(事務局) 文部科学省著作の図書について説明して下さい。

(守本専門員) 文部科学省が著作し、難易度を星印で示している図書があるが、挿絵が古いなどの理由で学校が希望していない。

4 結論

(1) 小学校教科書調査研究報告書について一部、第1候補を優先する理由等を追加する必要があり、今後当該の専門員は事務局を通じて委員長に提出する。

(2) 委員長は修正された報告書をもとに採択に関する答申書をまとめ、各委員の承認を受けた後、市教育委員会に提出する。

5 参考

(1) 平成23年度使用中学校用教科書【採択替えなし】

国語（光村図書出版），書写（東京書籍），社会科[地理]（日本文教出版），[歴史]（日本文教出版）[公民]（日本書籍新社），地図（帝国書院），数学（日本文教出版），理科[1分野]（新興出版社啓林館），[第2分野]（新興出版社啓林館），音楽[一般]（教育芸術社），[器楽]（教育芸術社），美術（日本文教出版），保健体育（学研教育みらい），技術家庭[技術分野]（開隆堂出版），[家庭分野]（開隆堂出版），英語（東京書籍）

(2) 平成23年度使用小学校用教科書候補【第1候補のみ示す】

国語（光村図書出版），書写（光村図書出版），社会科（教育出版），地図（帝国書院），算数（新興出版社啓林館），理科（新興出版社啓林館），生活科（東京書籍），音楽（教育芸術社），図画工作（日本文教出版），家庭科（東京書籍），保健体育（学研教育みらい）

(3) 特別支援学級で使用する教科書

通常の学級で使用する教科書（障がいの実情によっては下学年本とする）

特別支援学校用 文部科学省著作本（印本）

別添資料で選択した「けんちゃんとおそぼう1 のってのって」他151点の一般図書

拡大図書